

■第2章■ 文書をレイアウトする

文書を効率よくレイアウトする方法を勉強しましょう。

STEP 1. フォントサイズを大きくすると行間が広がるのは

1. 練習用の文書を準備しましょう

1 行目の文書
2 行目の文書
3 行目の文書
4 行目の文書
5 行目の文書
6 行目の文書
7 行目の文書
8 行目の文書

1 新しい文書を開きページ設定を変更します。

サイズ：はがき
印刷の向き：横
余白：狭い

2 文書を入力します。

1 行目の文書
2 行目の文書
3 行目の文書
4 行目の文書
5 行目の文書
6 行目の文書
7 行目の文書
8 行目の文書

2 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24 26 28

3 3～8行目を選択し、フォントサイズを「14」に変更します。

4 文書内をクリックして、選択を解除します。

1 行目の文書
2 行目の文書
3 行目の文書
4 行目の文書
5 行目の文書
6 行目の文書
7 行目の文書
8 行目の文書

ト 段落 スタイル

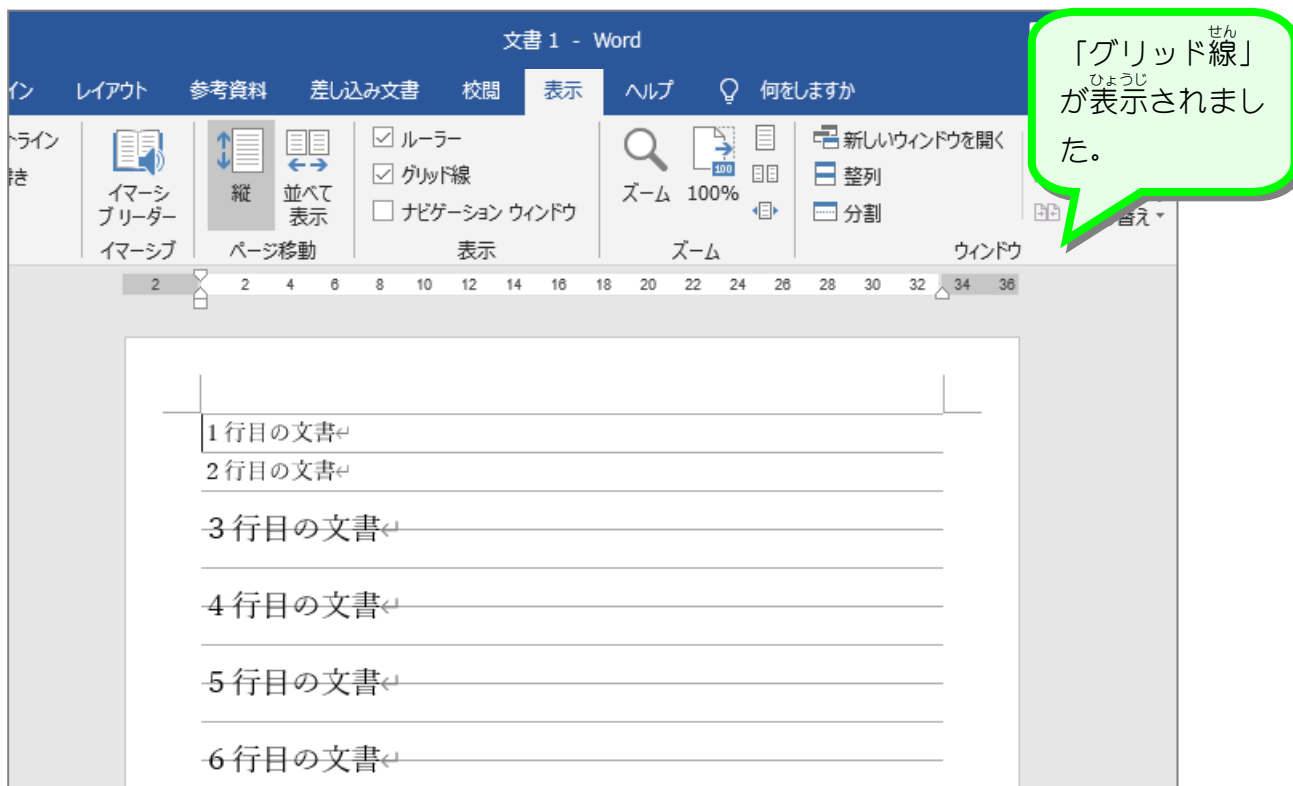
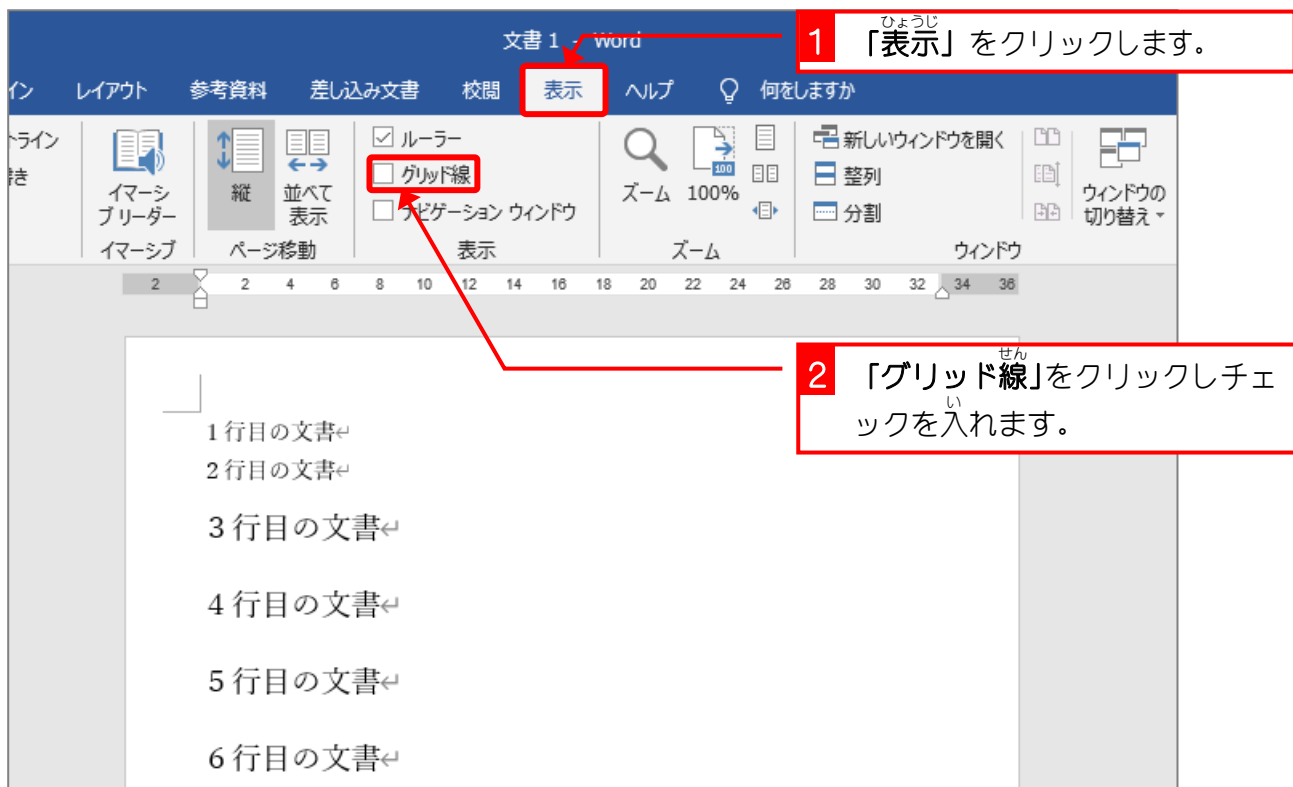
2 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24 26 28 30 32 34 36

3 行目以降の行間
が広がってしまい、
文字が2ページ目
にはみ出てしま
いました。

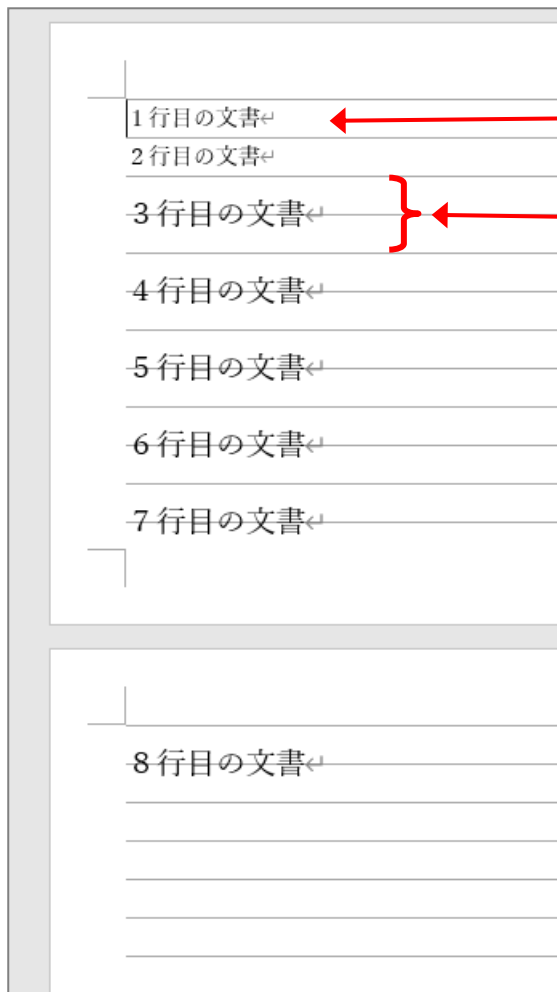
1 行目の文書
2 行目の文書
3 行目の文書
4 行目の文書
5 行目の文書
6 行目の文書
7 行目の文書
8 行目の文書

行間が急に広がったのは「グリッド線」と関係があります。「グリッド線」を表示して関係を見ましょう。

2. グリッド線^{せん ひょうじ}を表示しましょう



解説 フォントサイズが大きくなると行間が広がるのは



グリッド線1行に収まっている。

グリッド線を2行分使っている。

普通の大きさの文字は、1行目～2行目のように、グリッド線と同じ行間隔で表示されます。

ところが、3行目のように、グリッド線の間隔より文字が大きくなると、1行では文字が納まらなくなってしまい、表示に2行分使ってしまうことになります。

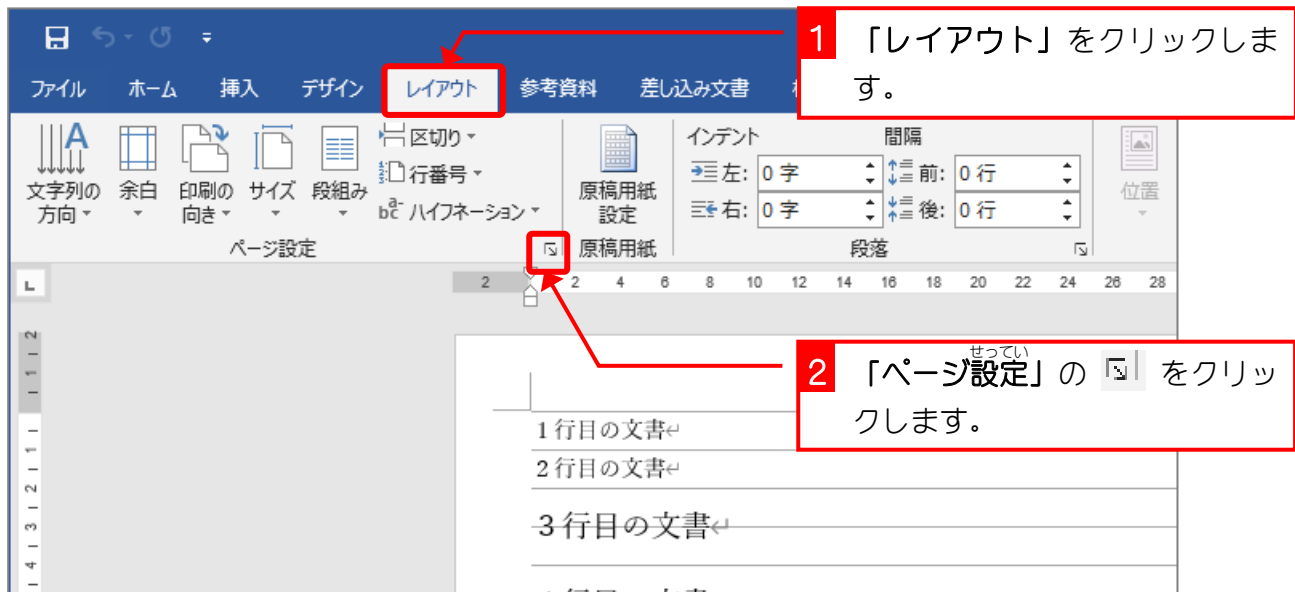
そのためフォントサイズを大きくすると、行間が突然広がって、1ページでは収まらないといったことが起こります。

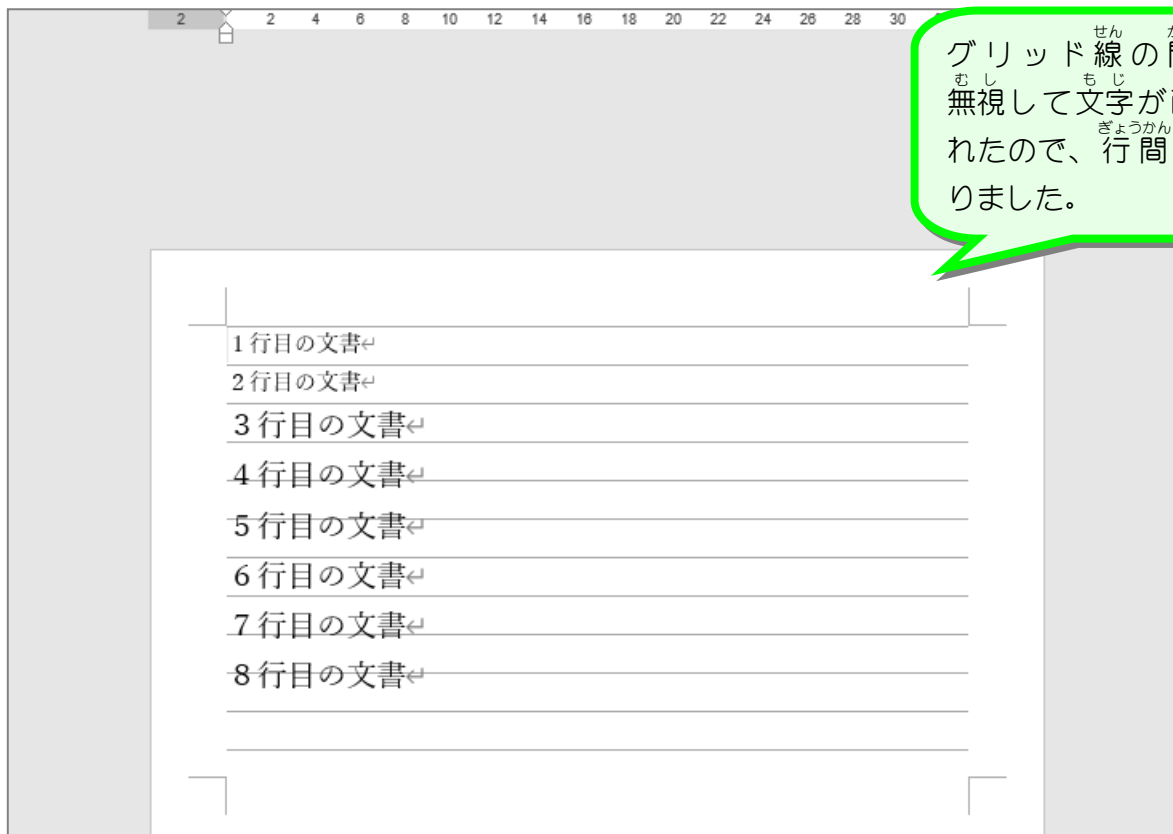
左の例の場合、1ページには11行分の文字が入るはずなのですが、3行目以降が倍の行を使ったため2ページ目にはみ出てしまいました。

STEP 2. グリッド線^{せん むし}を無視^{せってい}する設定


グリッド線^{せん}の間隔^{かんかく}とは関係^{かんけい}なく文字^{もじ}を配置^{はいち}するほうほう^{ほうほう}です。
1ページ^{おほ}にできるだけ多くの行^{ぎょう}を取め^{おさ}たい時は、この方法^{ほうほう}を使^{つか}いましょう。

1. ページ^{ぜんたい}全体の行間^{ぎょうかん}を詰め^つましょう





練習問題

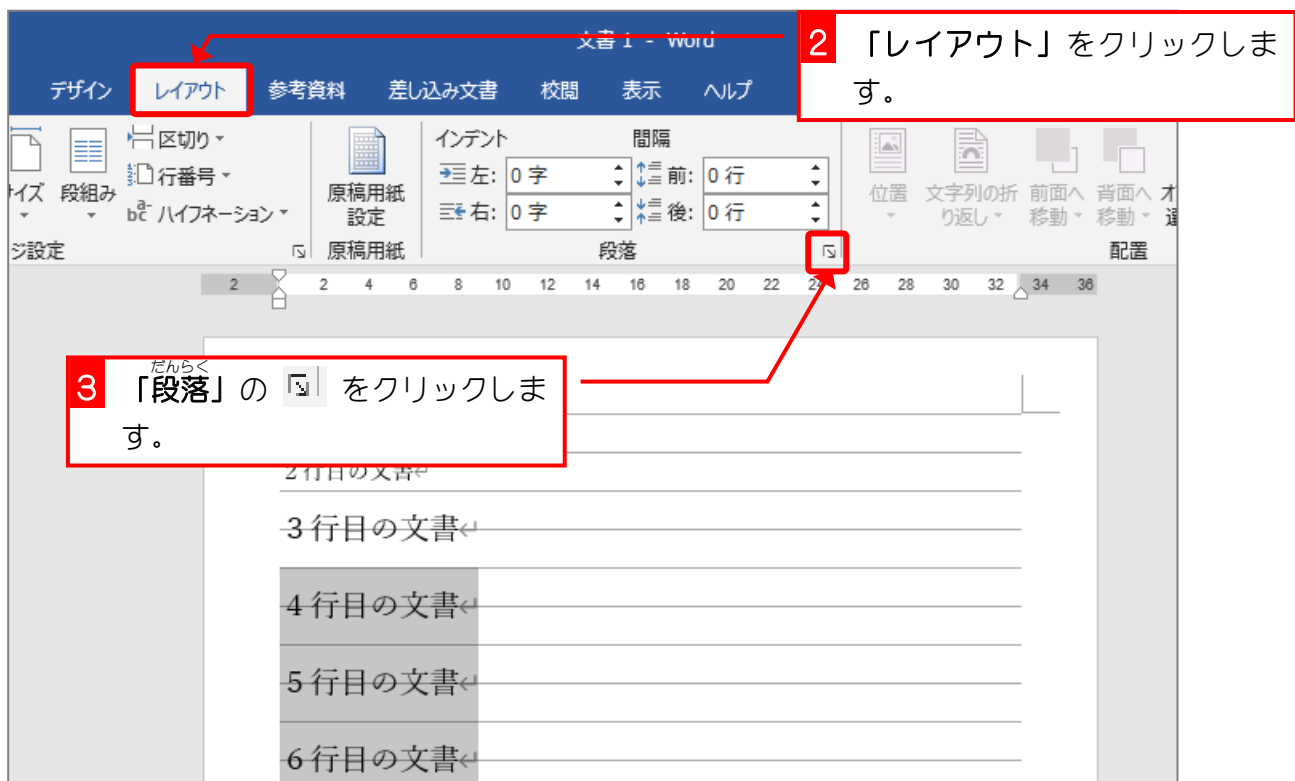
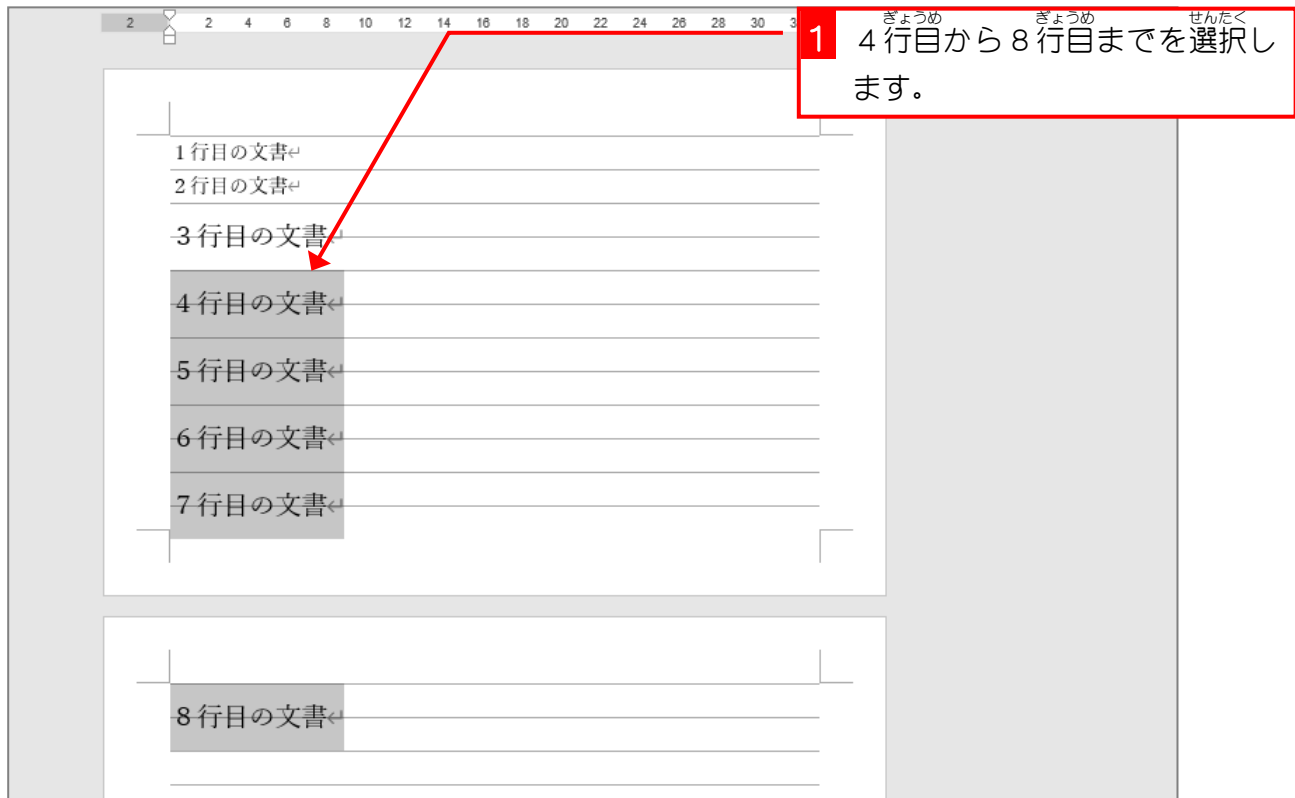
- ページ設定で、文字数と行数の指定を「行数だけを指定する」に戻しましょう。
 「元に戻す」を使ってもかまいません。



STEP 3. 部分的にグリッド線が無視する設定


部分的に行間を詰めたい時はこの方法が有効です。

1. 4～8行目の行間を詰めましょう



練習問題

- 段落で、インデントと行間隔の指定を「1ページの行数を指定時に文字を行グリッド線に合わせる」に戻しましょう。(4行目~8行目)

 「元に戻す」を使ってもかまいません。



STEP 4. 1ページの行数を指定する

1. 1ページの行数を8行にしてみましょう

